

フロン排出抑制法

3年間の軌跡

TRK

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

目次

1. はじめに
2. ユーザーの意識と管理の実態
3. フロン類の回収量と充填量
4. フロン類の破壊量と再生量
5. 算定漏えい量報告
6. 法制度を支える技術者数
7. まとめ

フロン排出抑制法の3年間

- ❖ 十分周知されたか
- ❖ 機器の点検は実行されているか
- ❖ フロンは適正に回収されているか
- ❖ フロンの充填状況は
- ❖ フロンの再生は進んでいるか
- ❖ フロンの稼働時漏えいは減っているか
- ❖ 法制度を支える技術者数は

都内で空調機器を所有する「ユーザーの取組実態」を継続的に調査している。

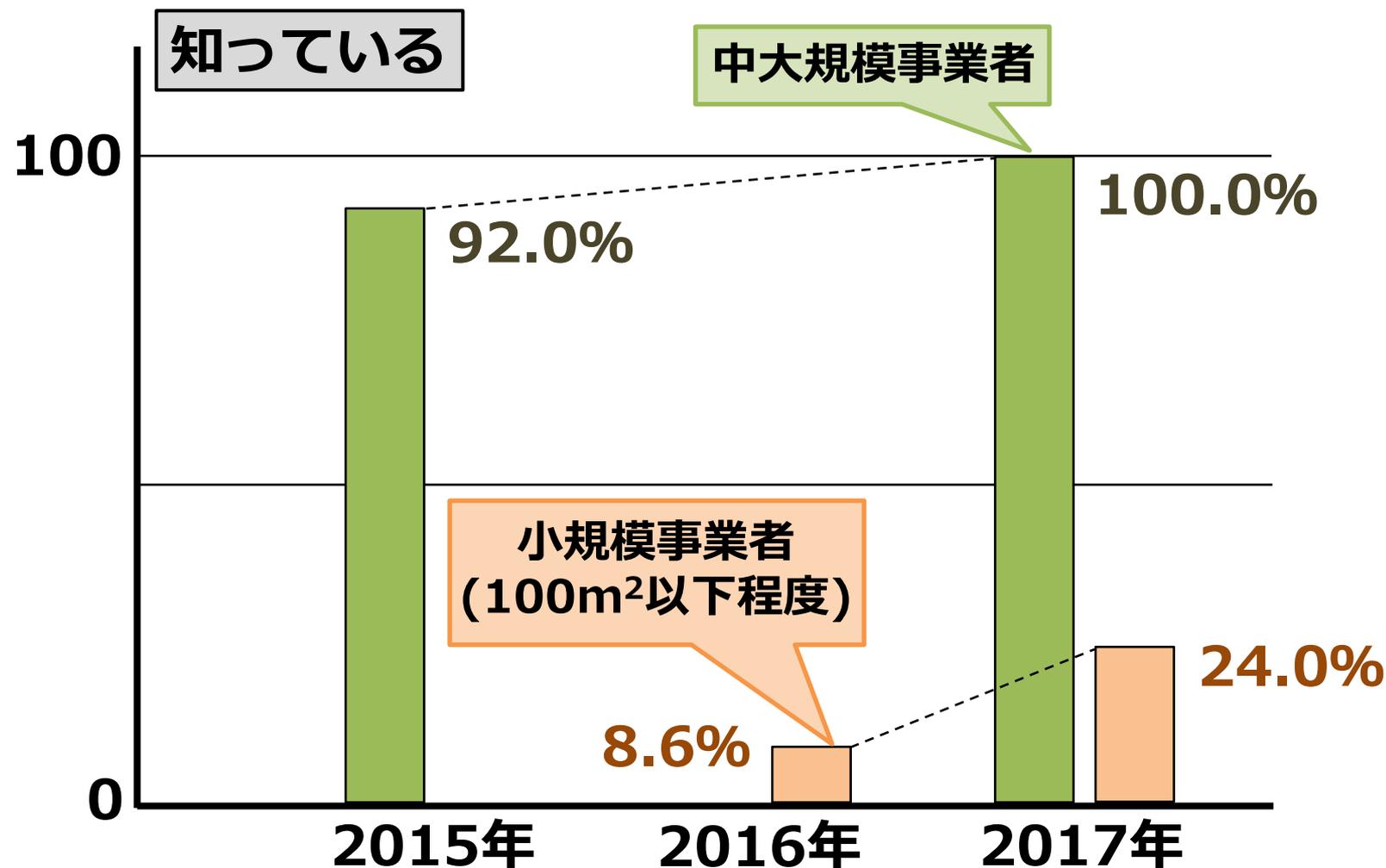
(東京都環境局からの委託で東冷協が実施)

2015年度 主に中大規模 308事業所
合計 4,459台

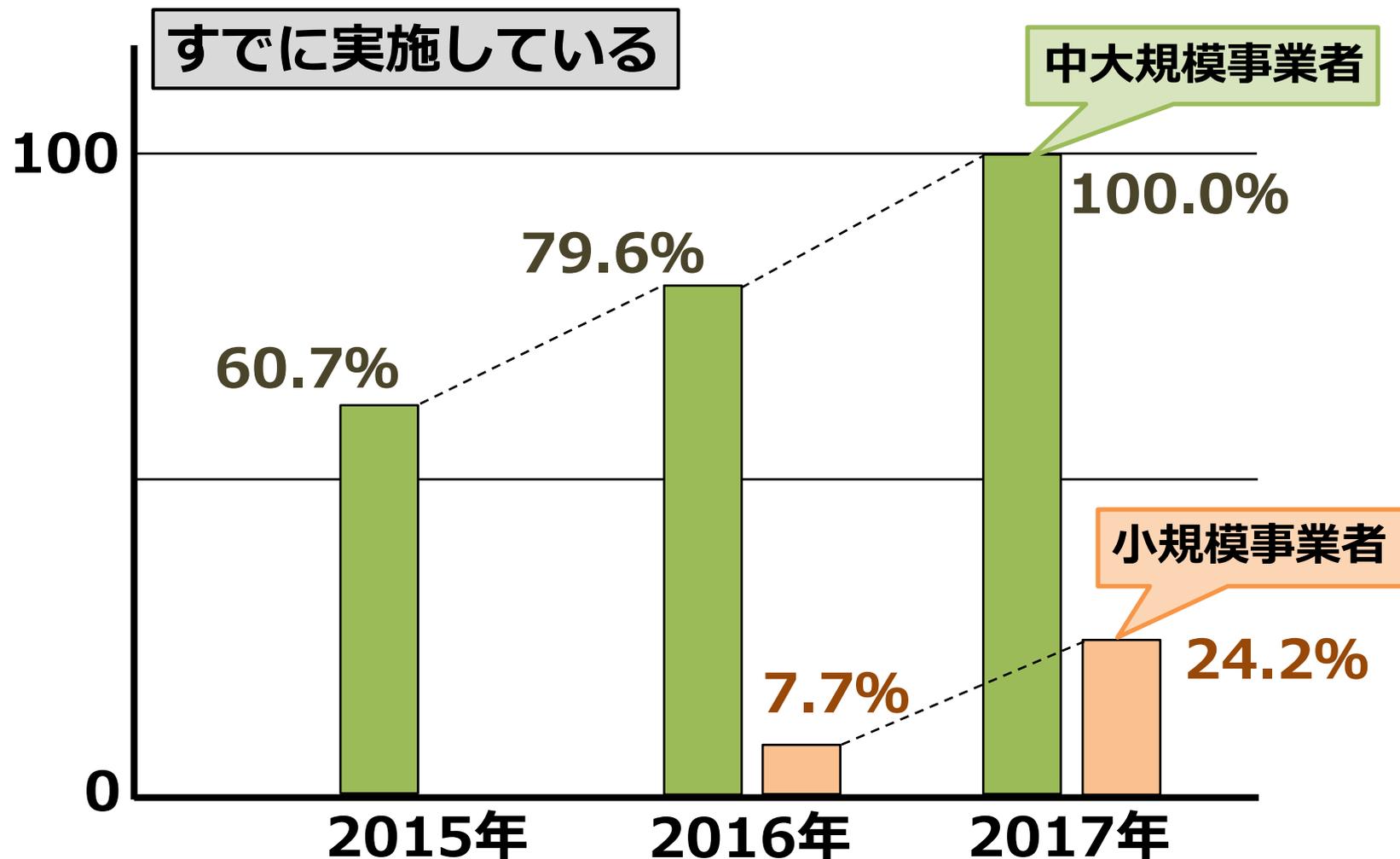
2016年度 継続調査：主に中大規模 174事業所
新規調査：主に小規模 167事業所
合計 3,399台

2017年度 継続調査：主に中大規模 111事業所
新規調査：主に小規模 262事業所
合計 2,503台

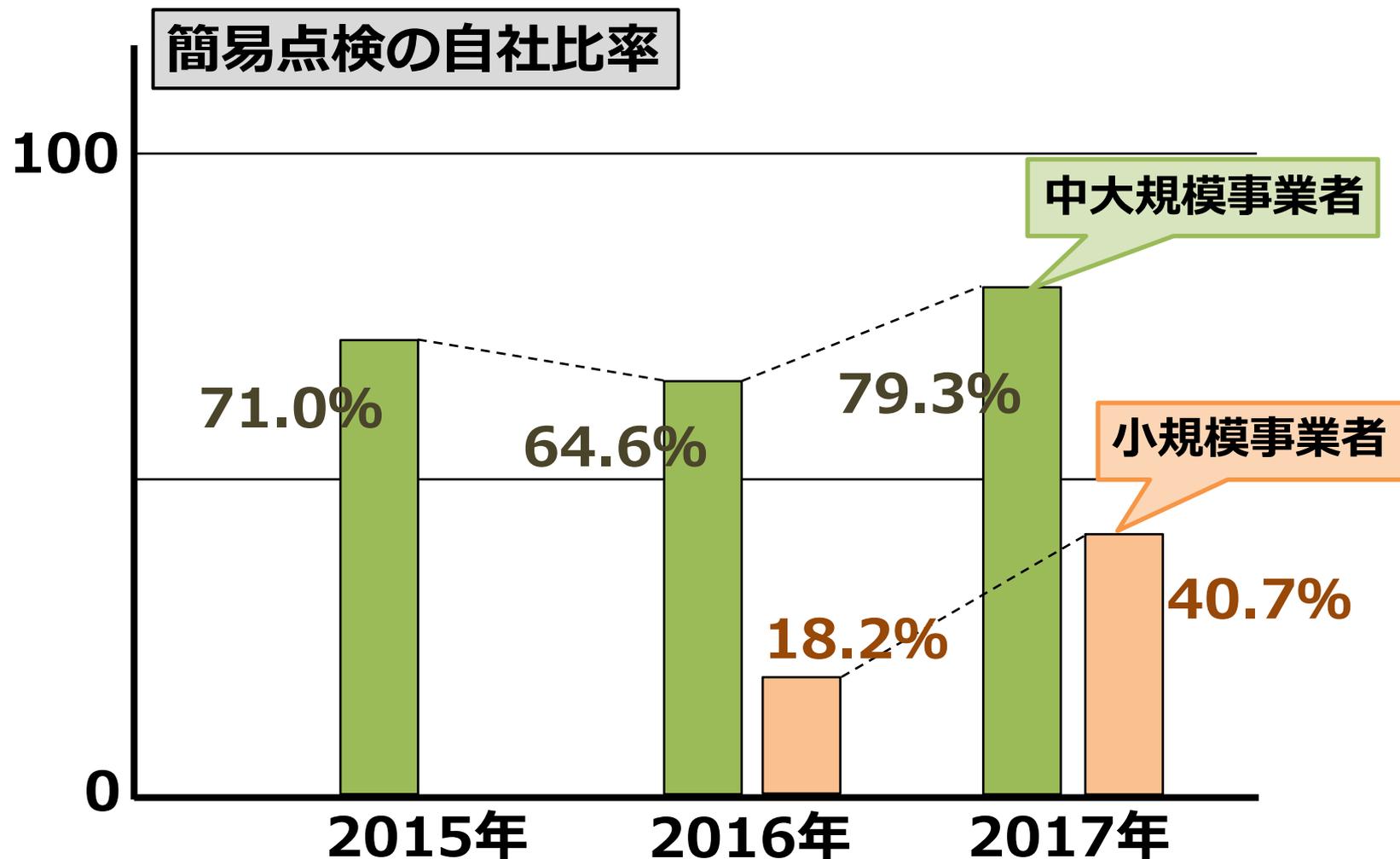
～ 法を知っているか ～



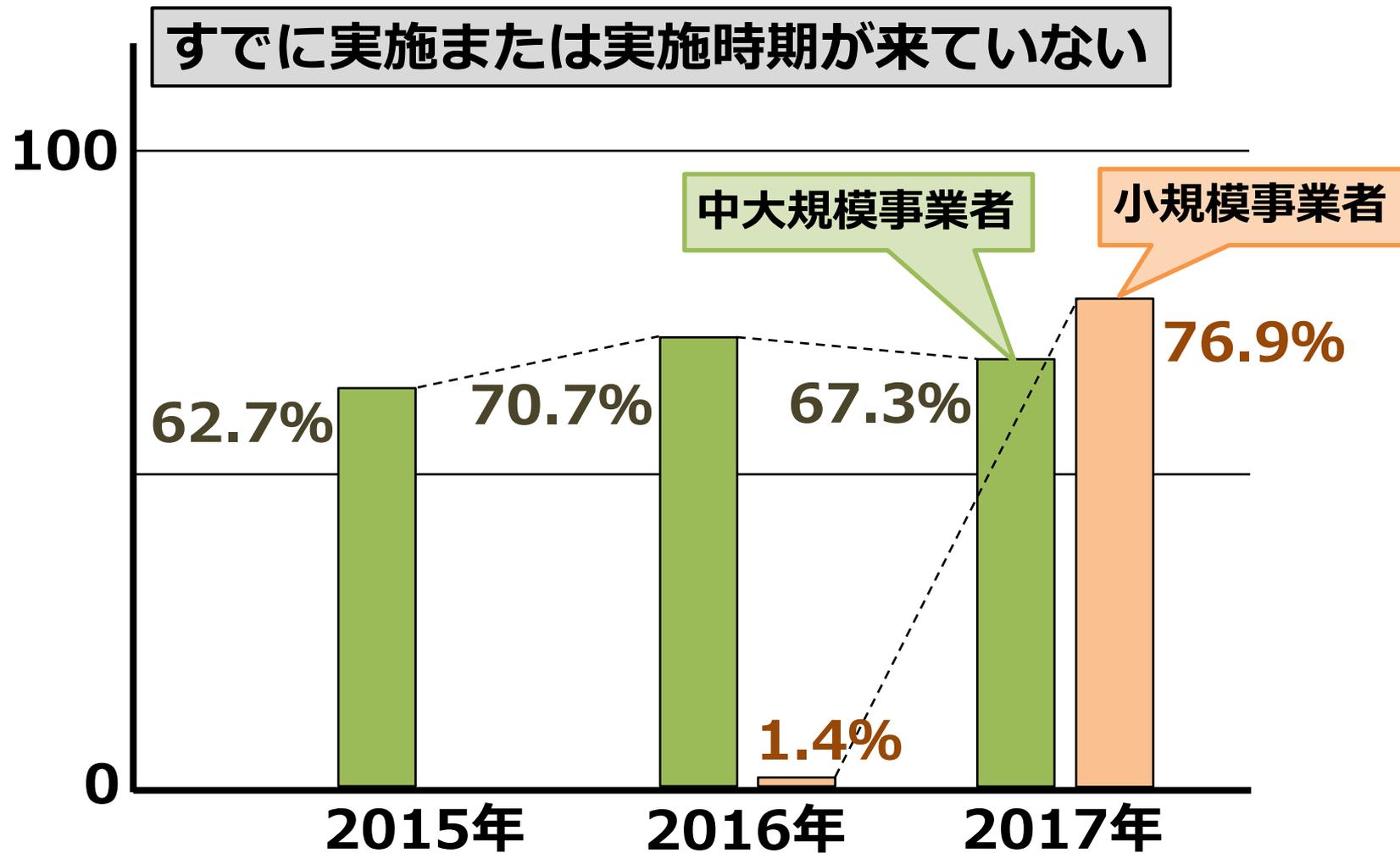
～ 簡易点検は実施しているか ～



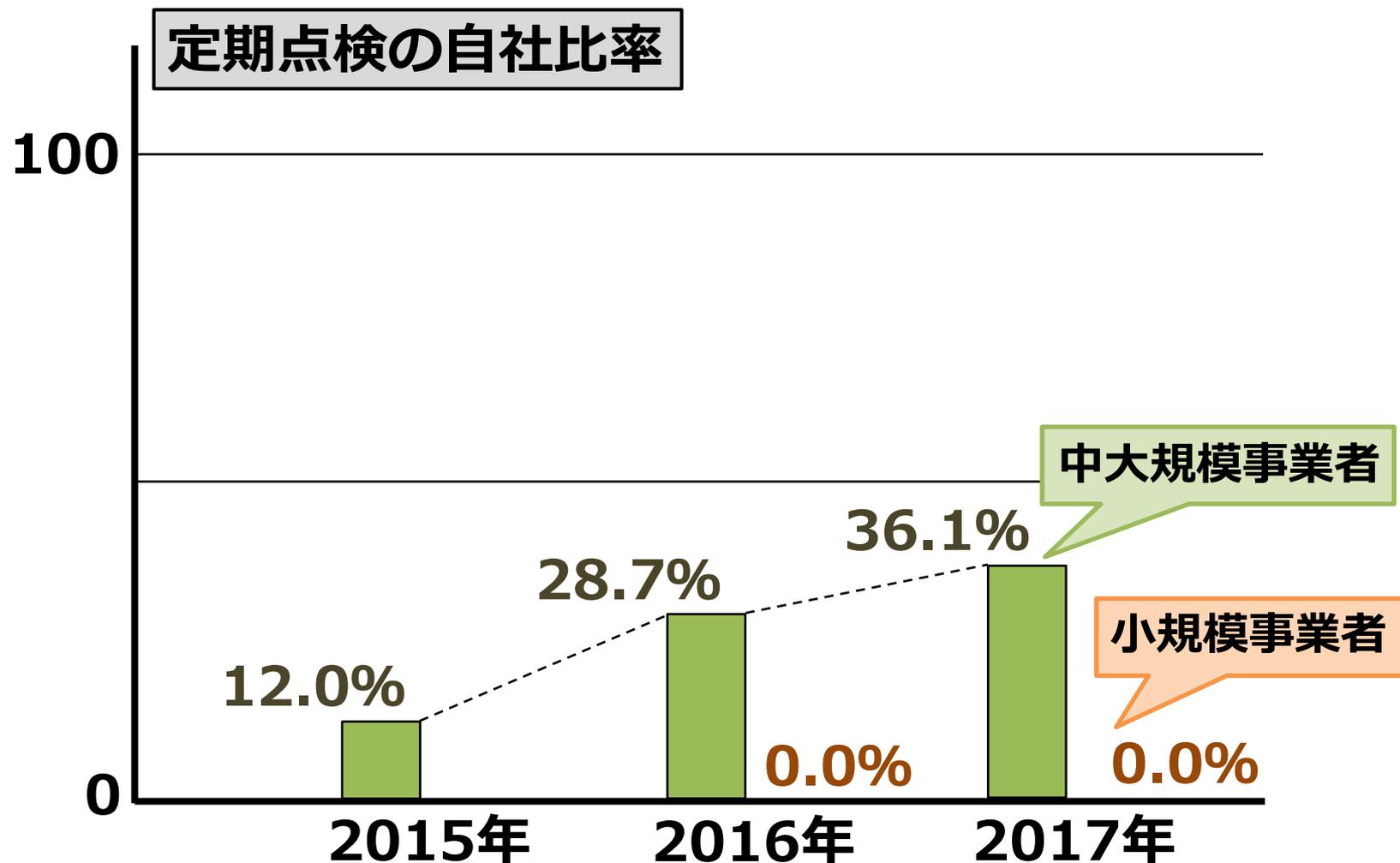
～ 簡易点検はだれが実施しているか ～



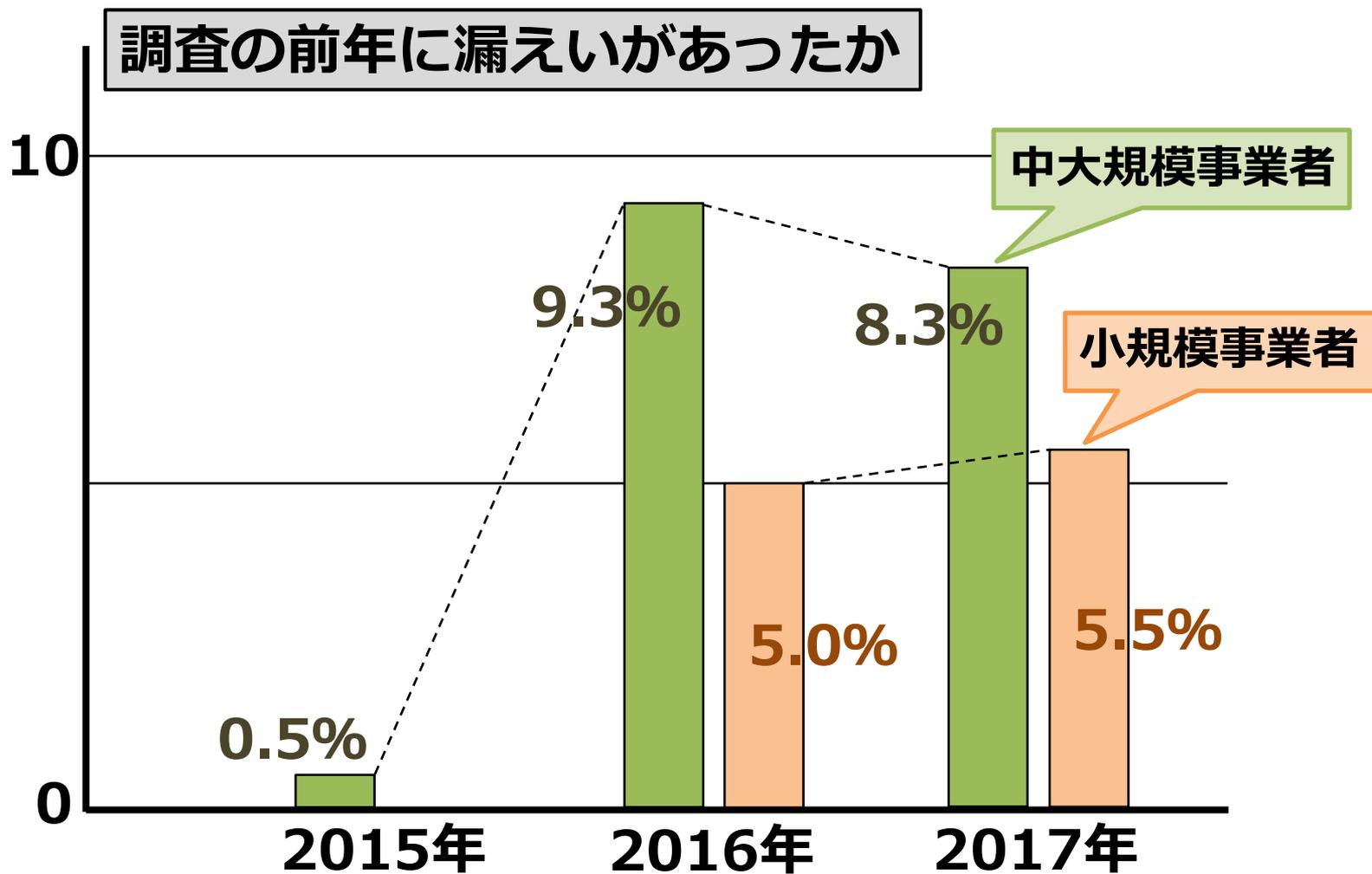
～ 定期点検は実施しているか ～



～ 定期点検はだれが実施しているか ～



～ 漏えいの実態 ～



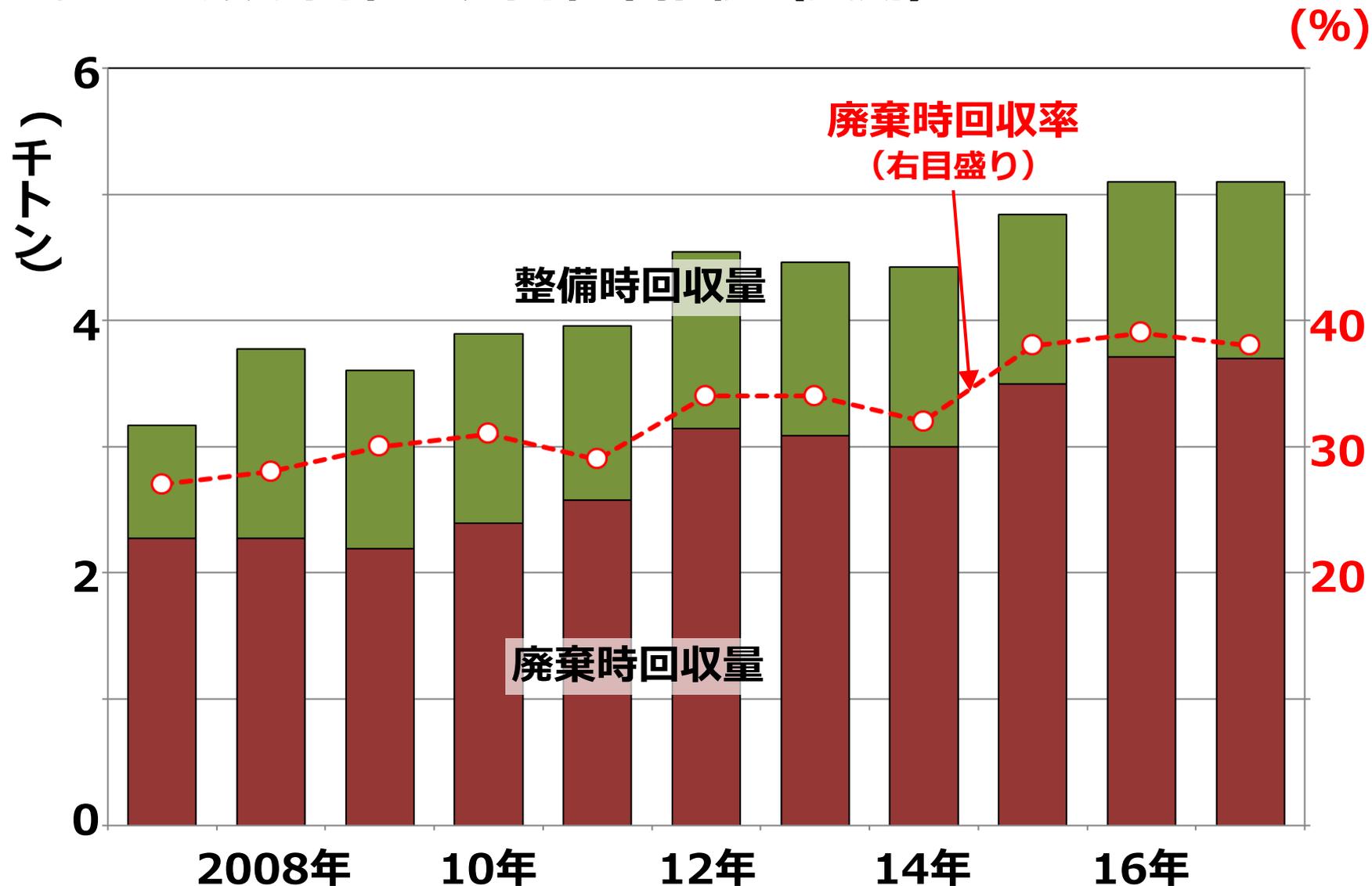
フロン排出抑制法に基づき、業務用冷凍空調機器（第一種特定製品）の廃棄時等及び整備時において、フロン類の回収が義務付けられている。

第一種フロン類充填回収業者は、前年度に充填、回収したフロン類の量等を都道府県知事に毎年度報告をしなければならない。

その集計結果が以下のデータである。

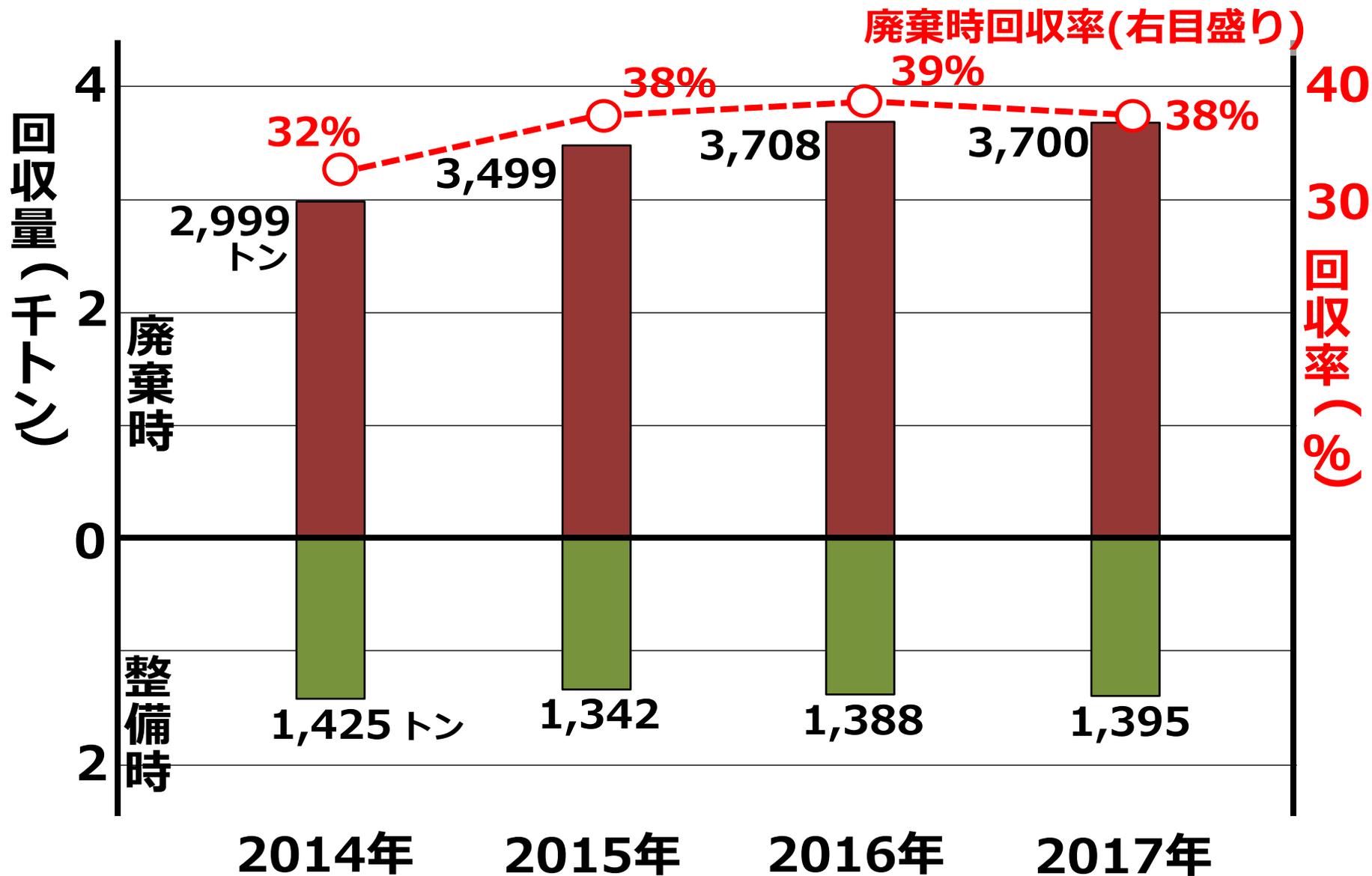
3. フロン類の回収量と充填量

～ フロン類の回収量、回収率推移（長期） ～



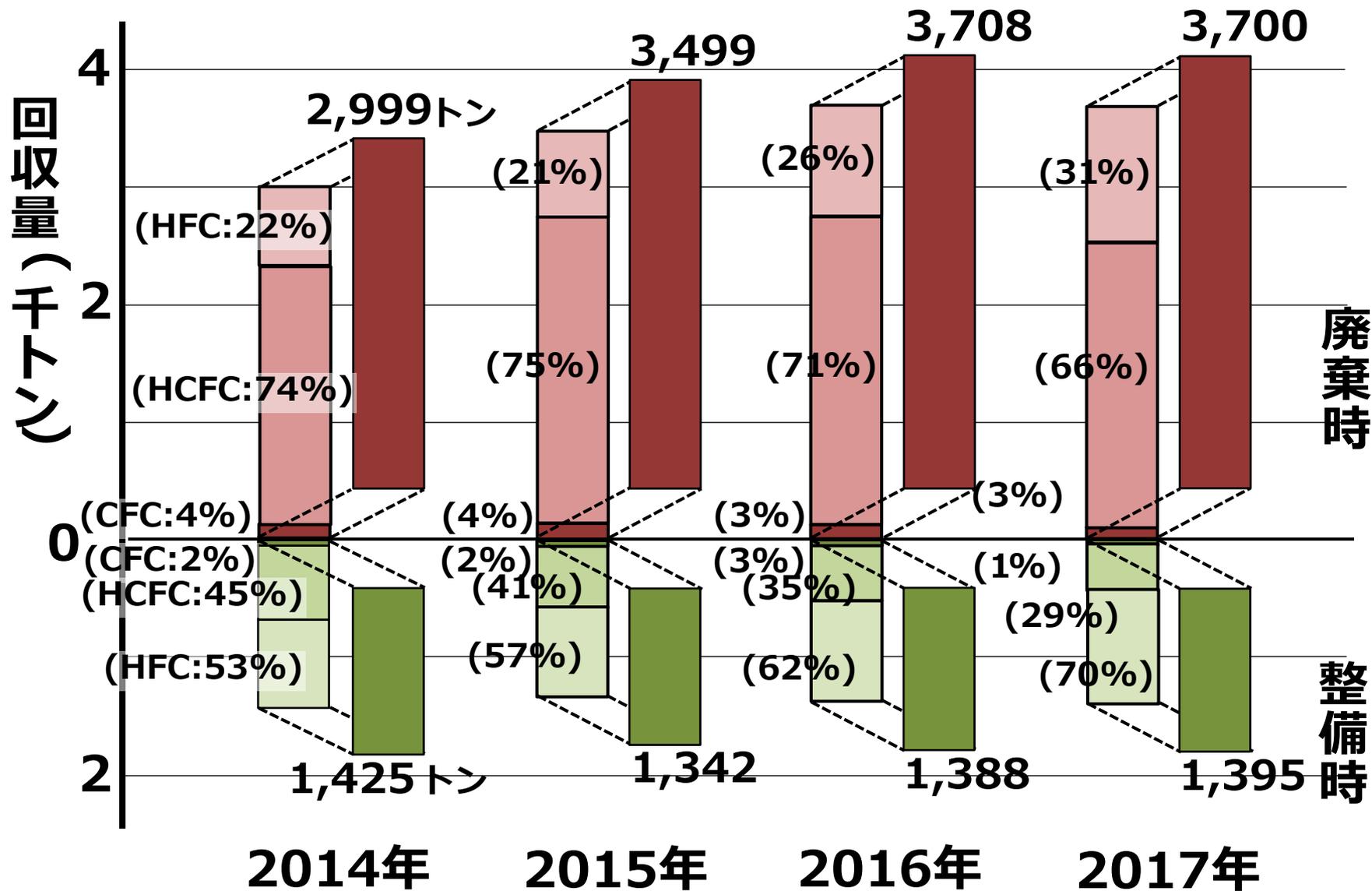
3. フロン類の回収量と充填量

～ フロン類の回収量、回収率推移（直近）～



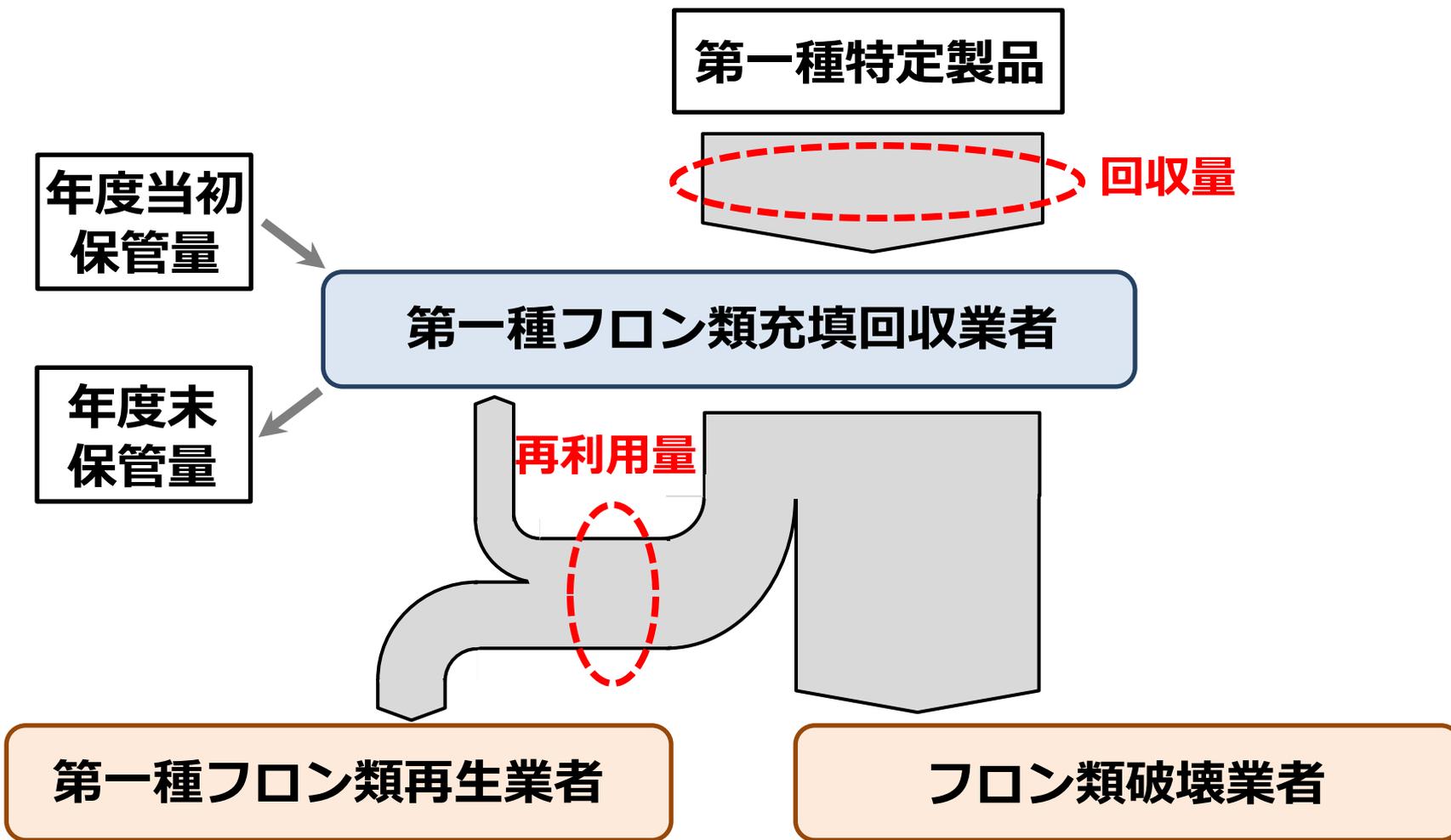
3. フロン類の回収量と充填量

～ 回収したフロン類の分類 ～



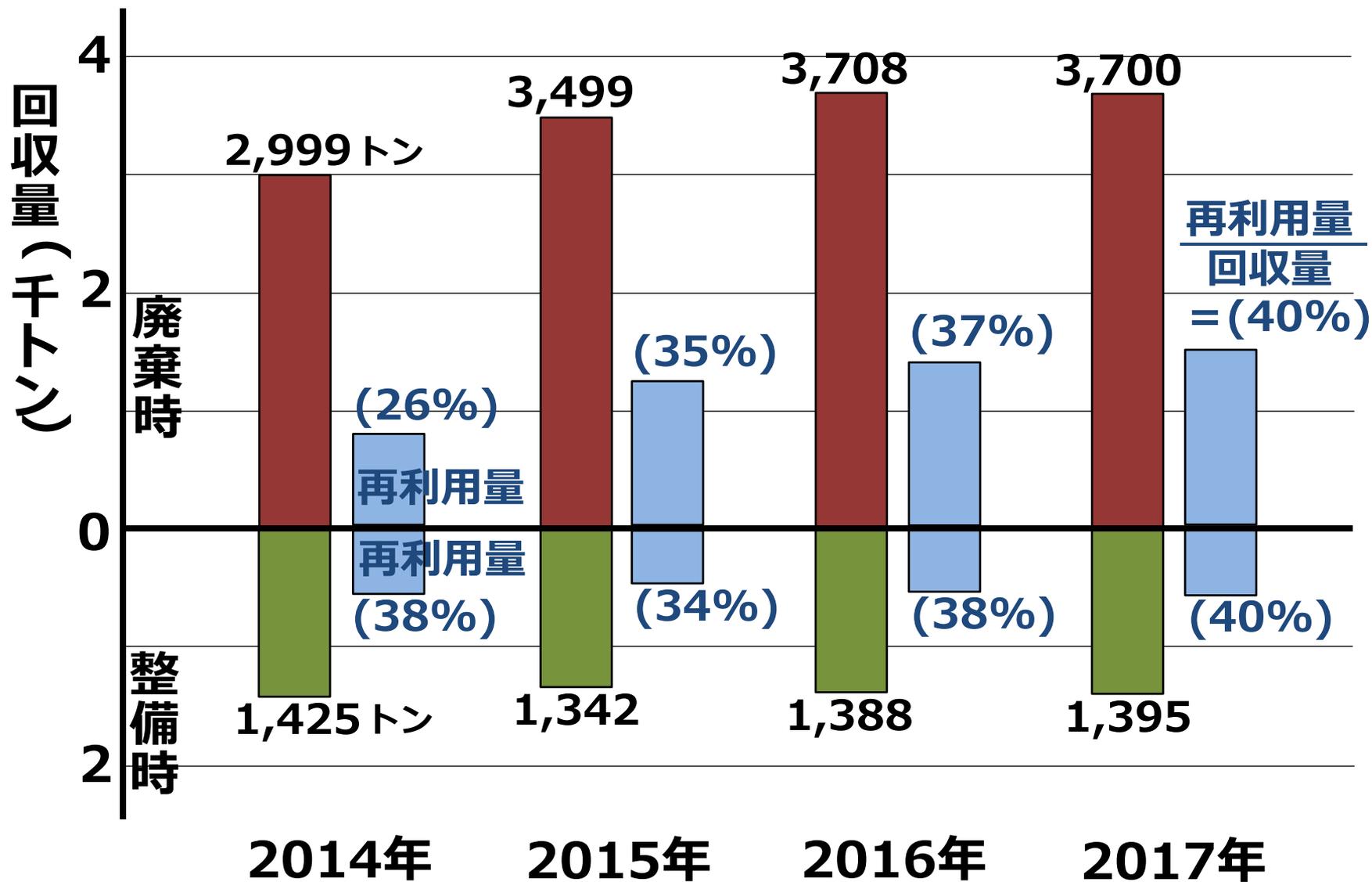
3. フロン類の回収量と充填量

～ 第一種フロン類充填回収業者が扱うフロン類のフロー ～



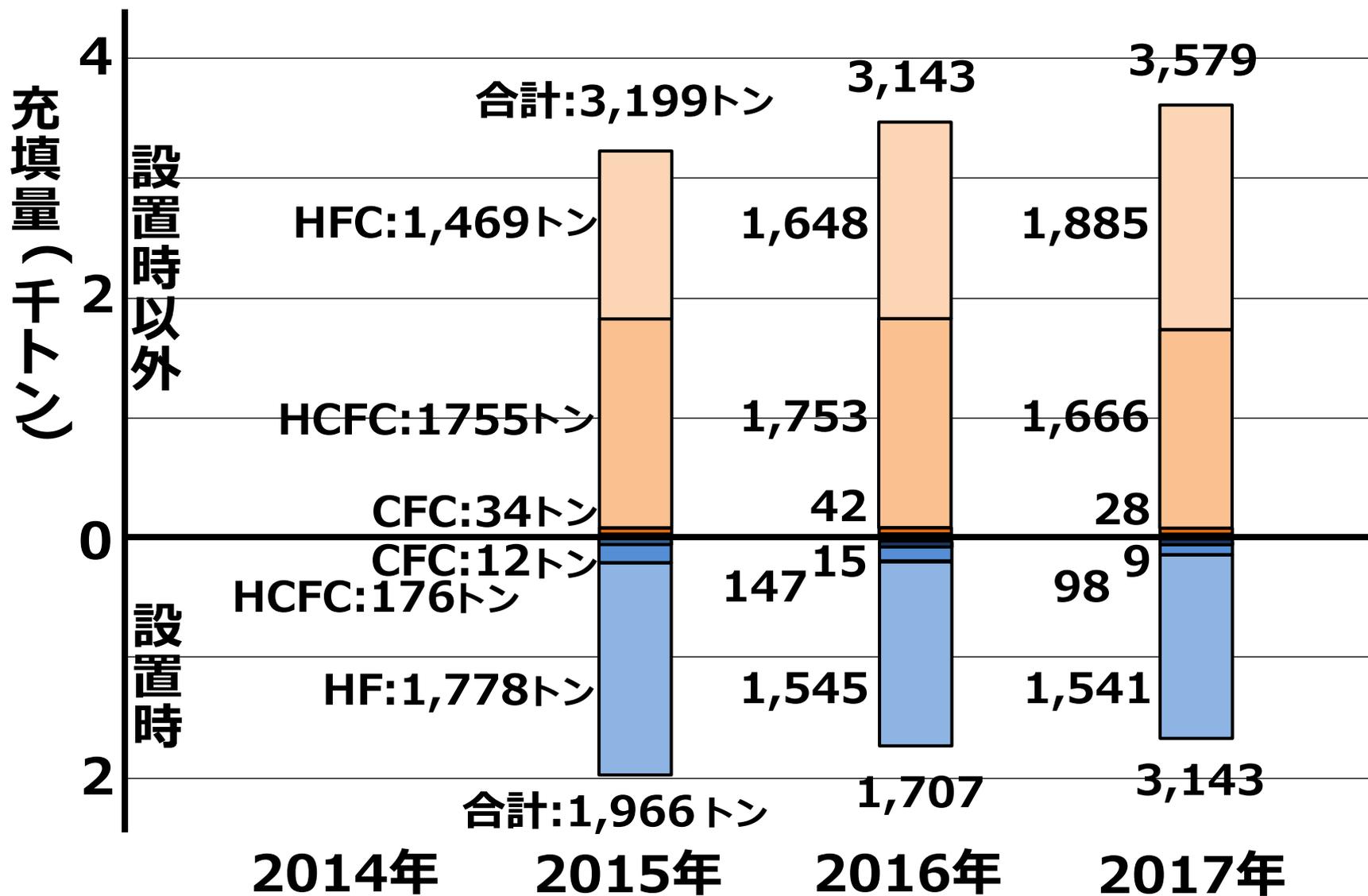
3. フロン類の回収量と充填量

～ 回収したフロン類の再利用状況 ～



3. フロン類の回収量と充填量

～ フロン類の充填量 ～



フロン排出抑制法に基づき、毎年度、主務大臣に対し

フロン類破壊業者は

「フロン類の破壊等の報告」

第一種フロン類再生業者は

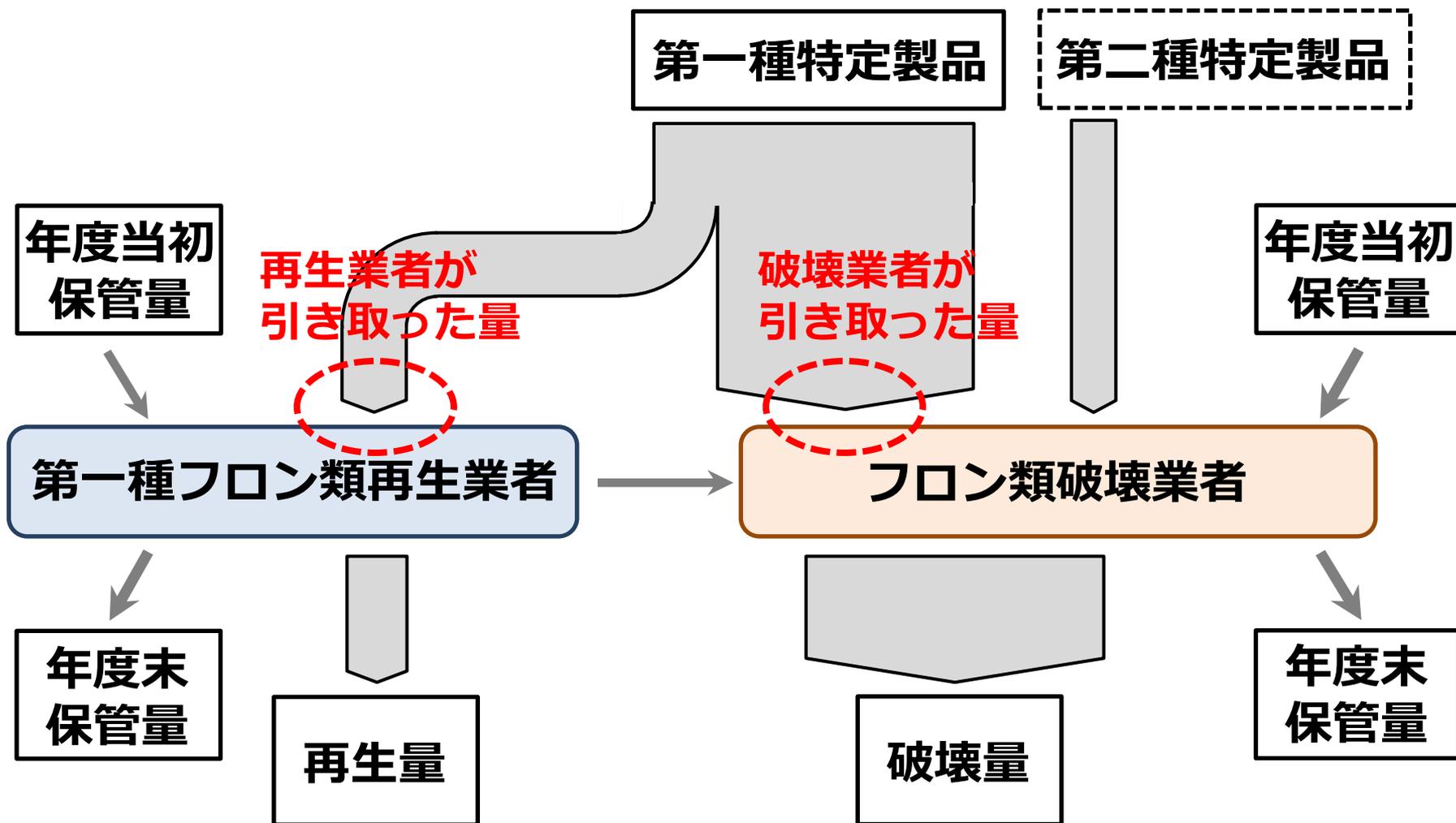
「フロン類の再生量等の報告」

を行うこととなっている。

その集計結果が以下のデータである。

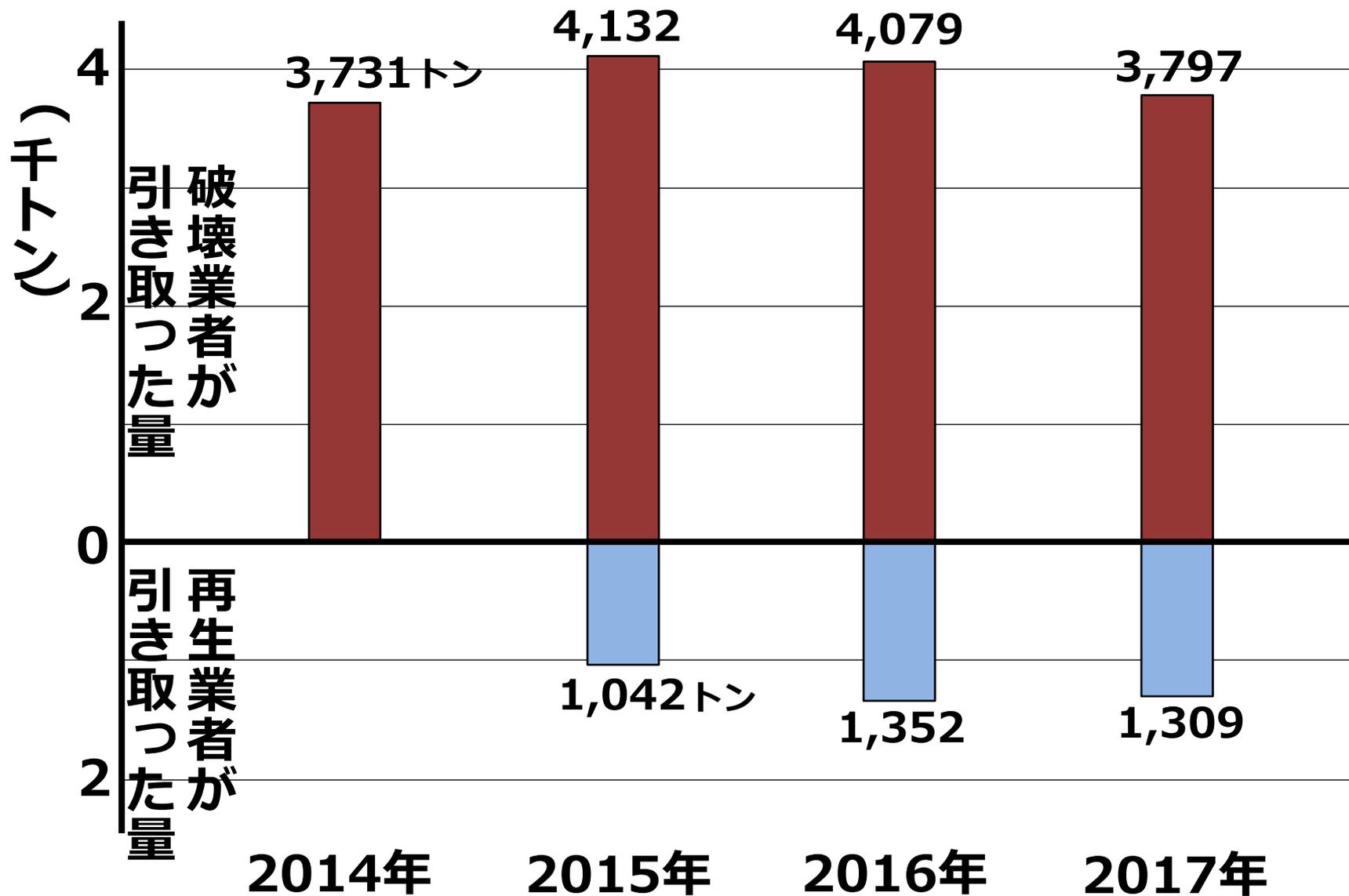
4. フロン類の破壊量と再生量

～ フロン類の破壊量と再生量の全体フロー ～



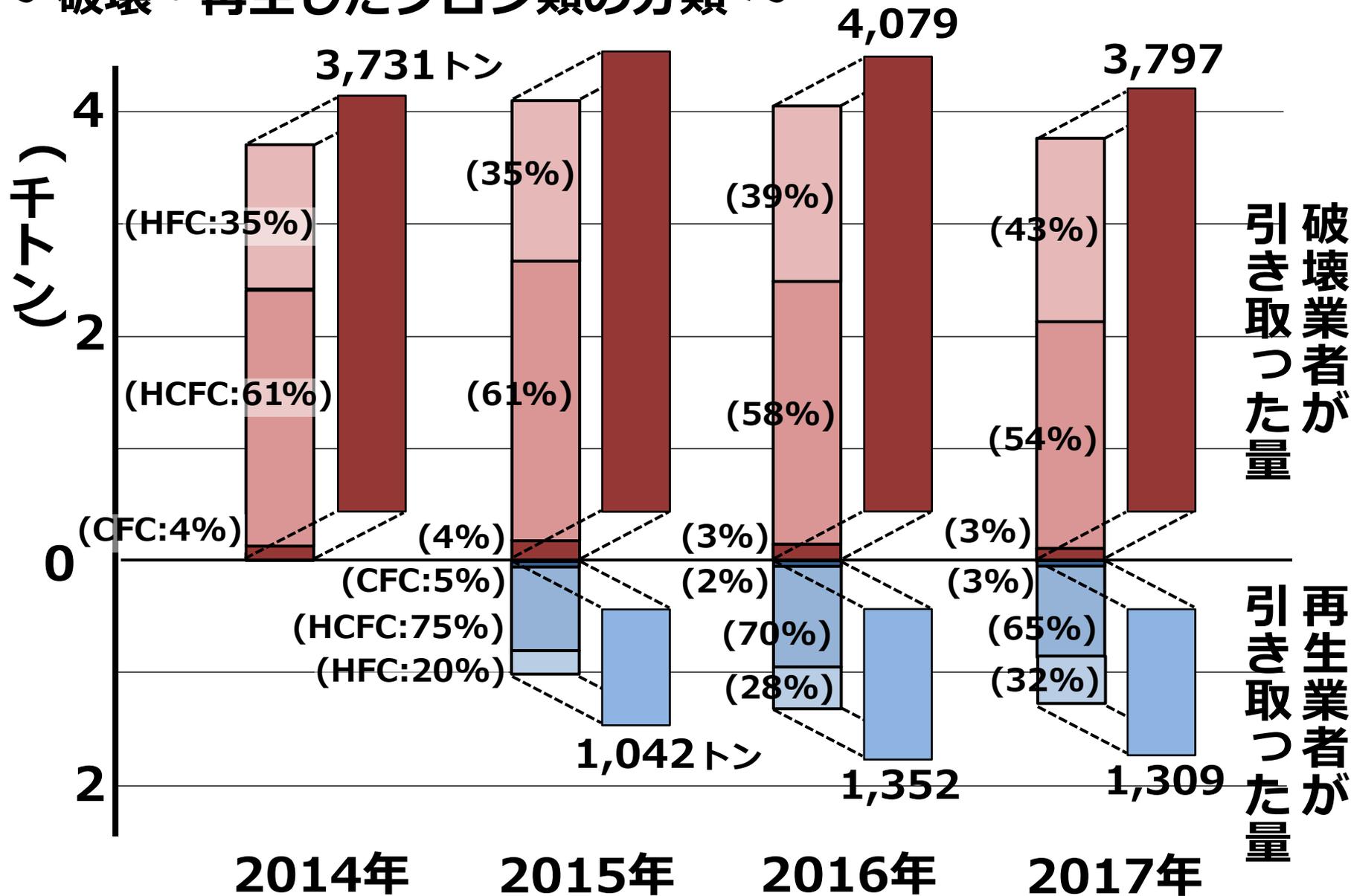
4. フロン類の破壊量と再生量

～ フロン類の破壊量と再生量 ～

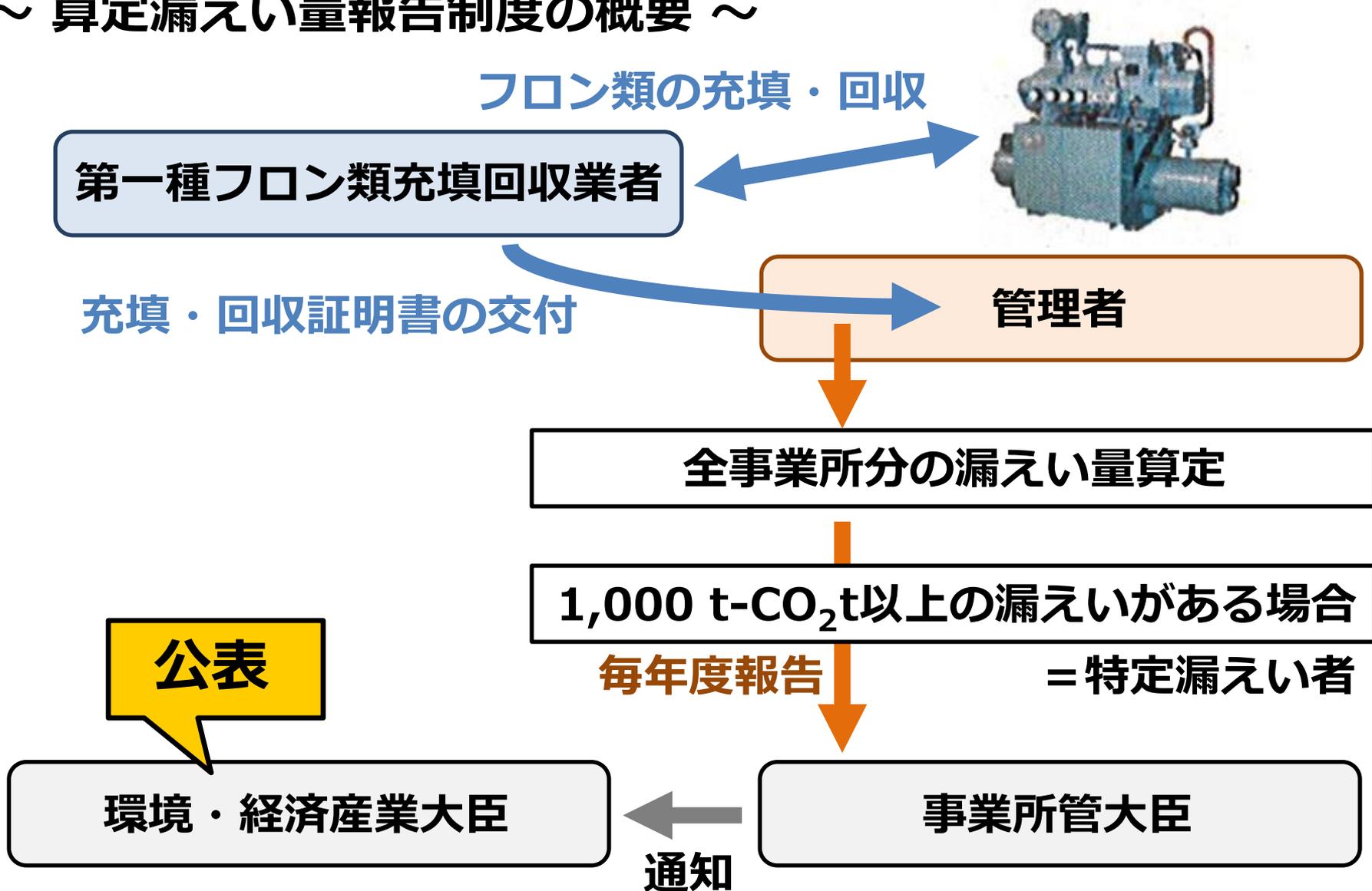


4. フロン類の破壊量と再生量

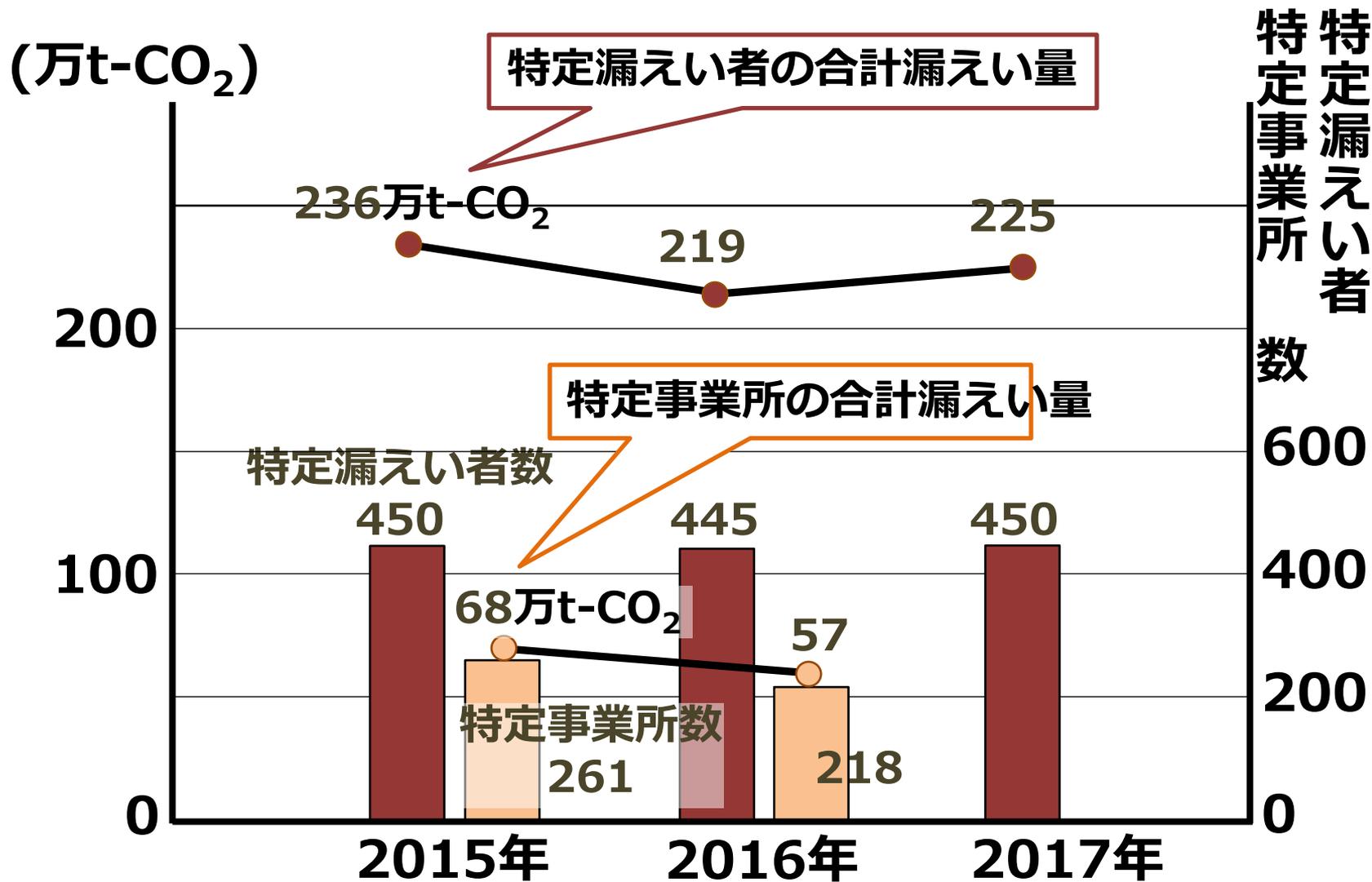
～ 破壊・再生したフロン類の分類 ～



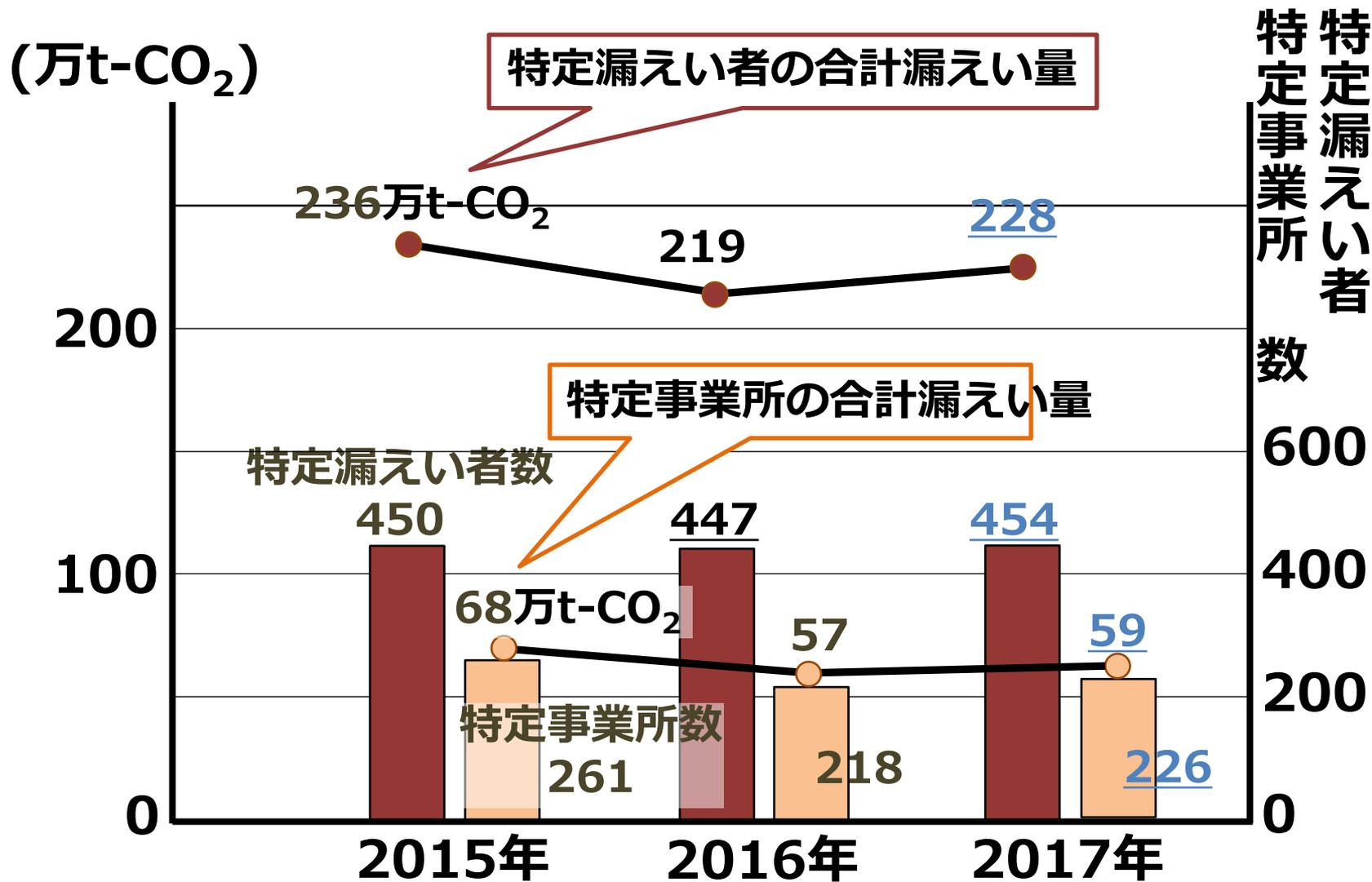
～ 算定漏えい量報告制度の概要 ～



～ 特定漏えい者による漏えい量 ～

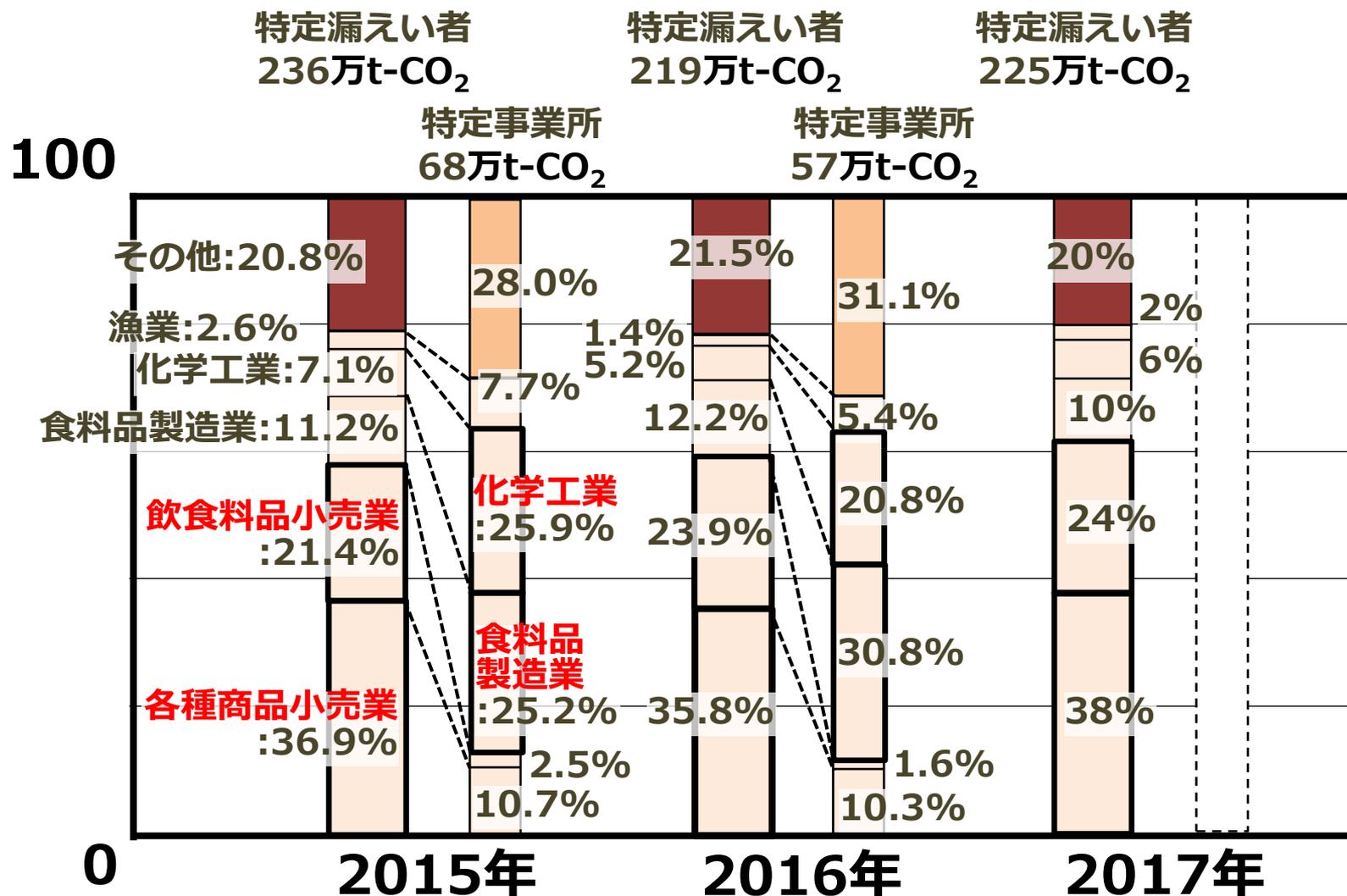


～ 特定漏えい者による漏えい量 ～



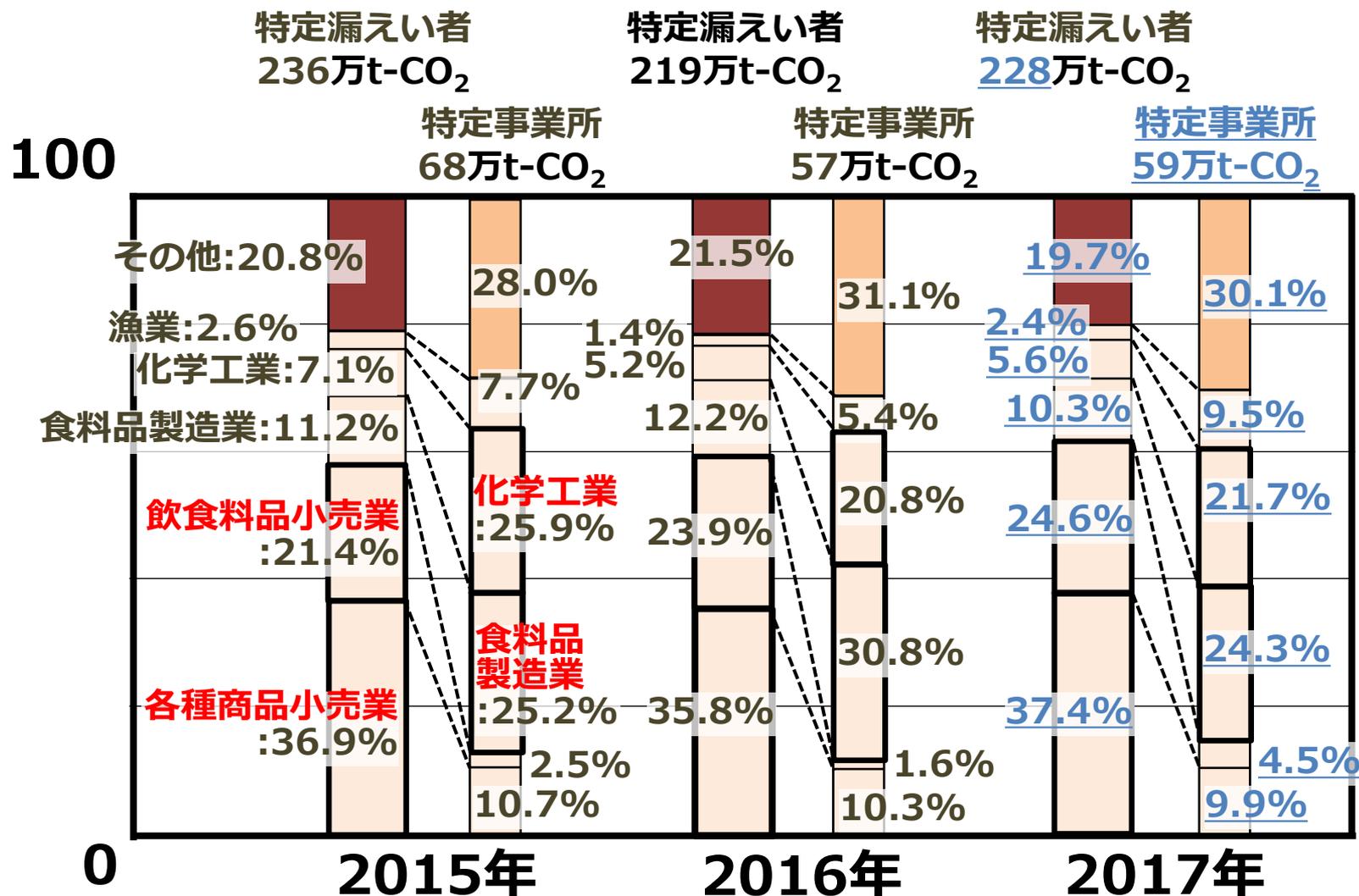
5. 算定漏えい量報告

～ 業種の分類（100分率）～

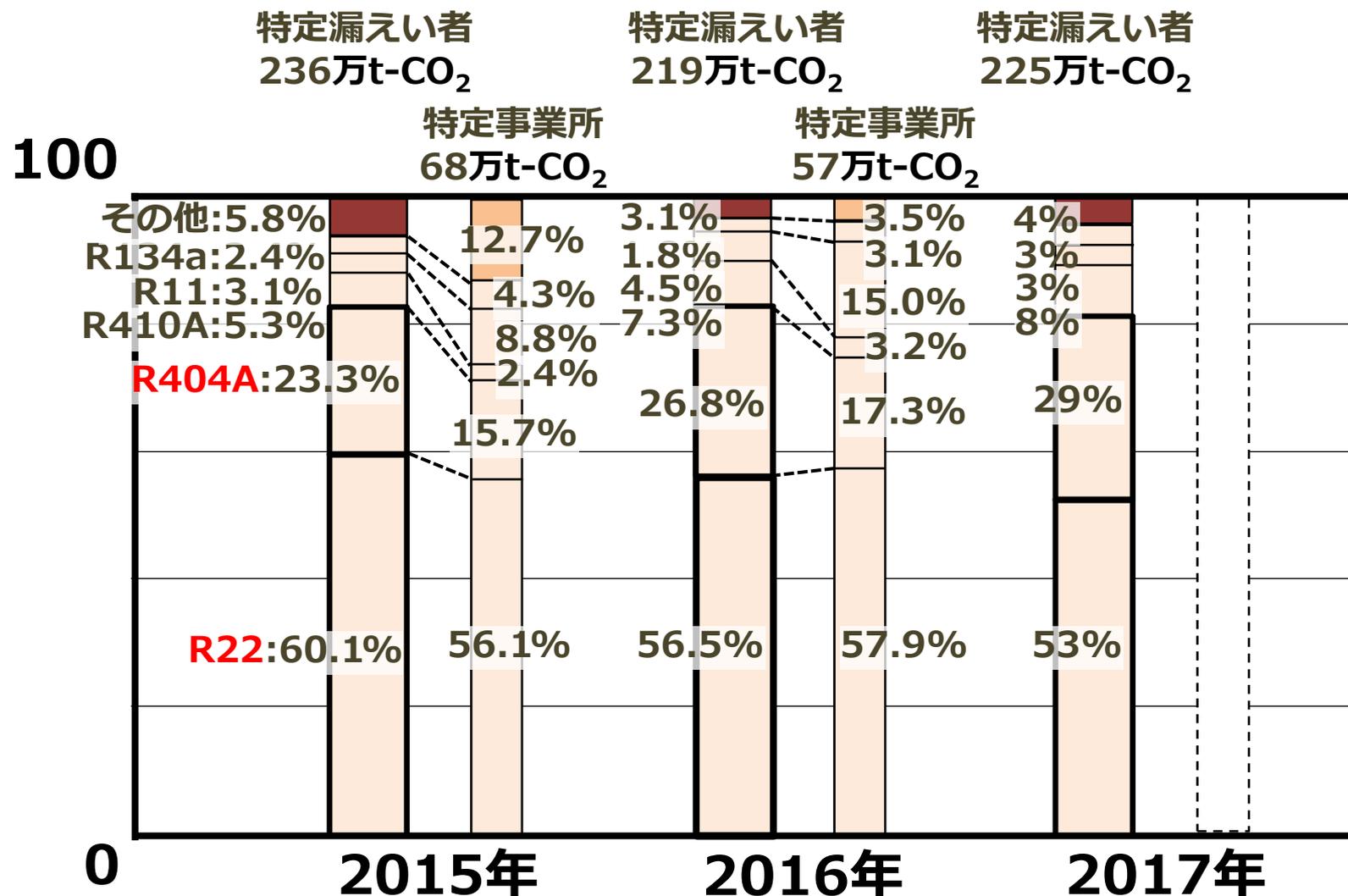


5. 算定漏えい量報告 (2019-1 追記修正青字)

～ 業種の分類 (100分率) ～

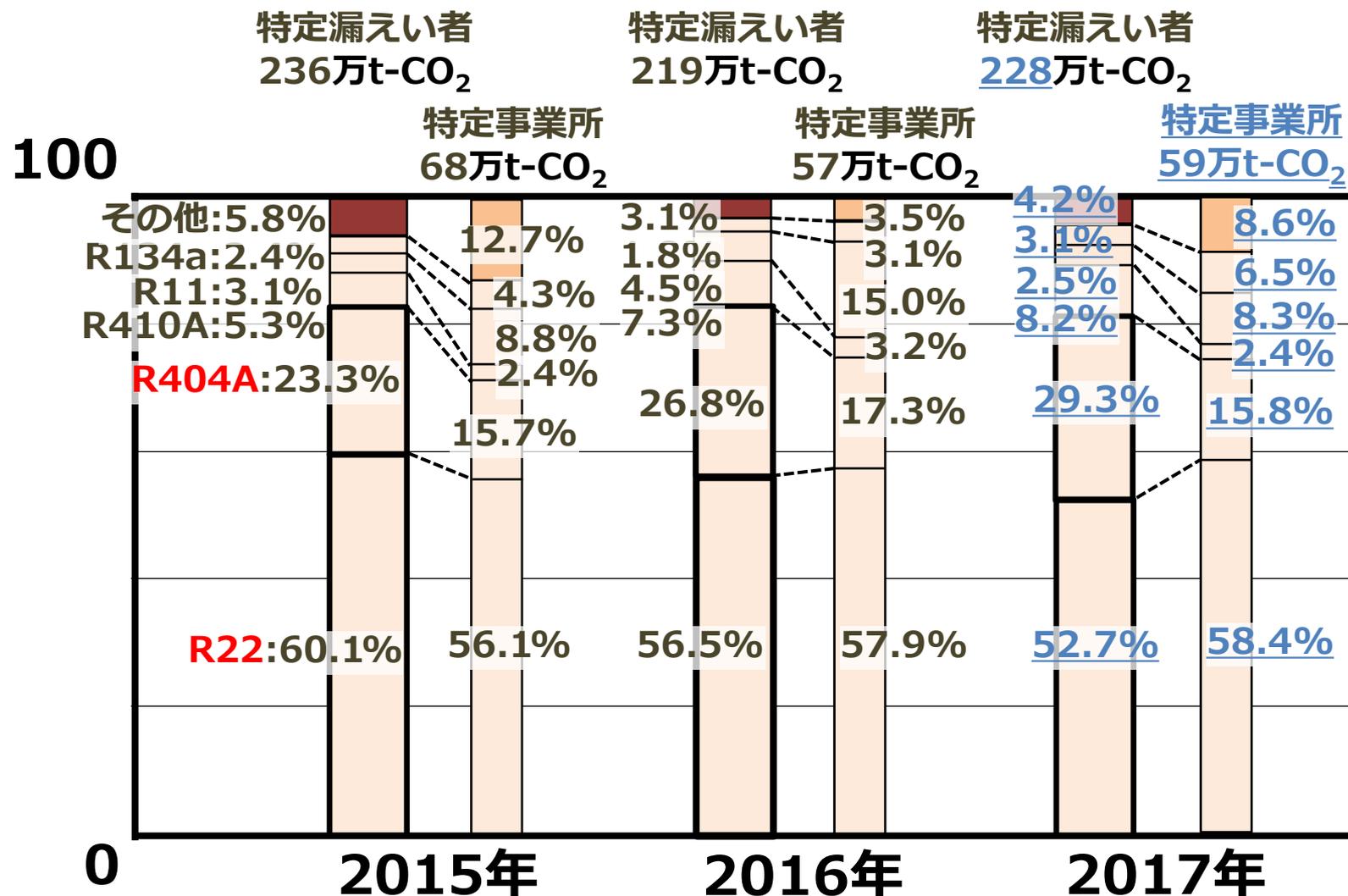


～ フロン類の分類（100分率）～

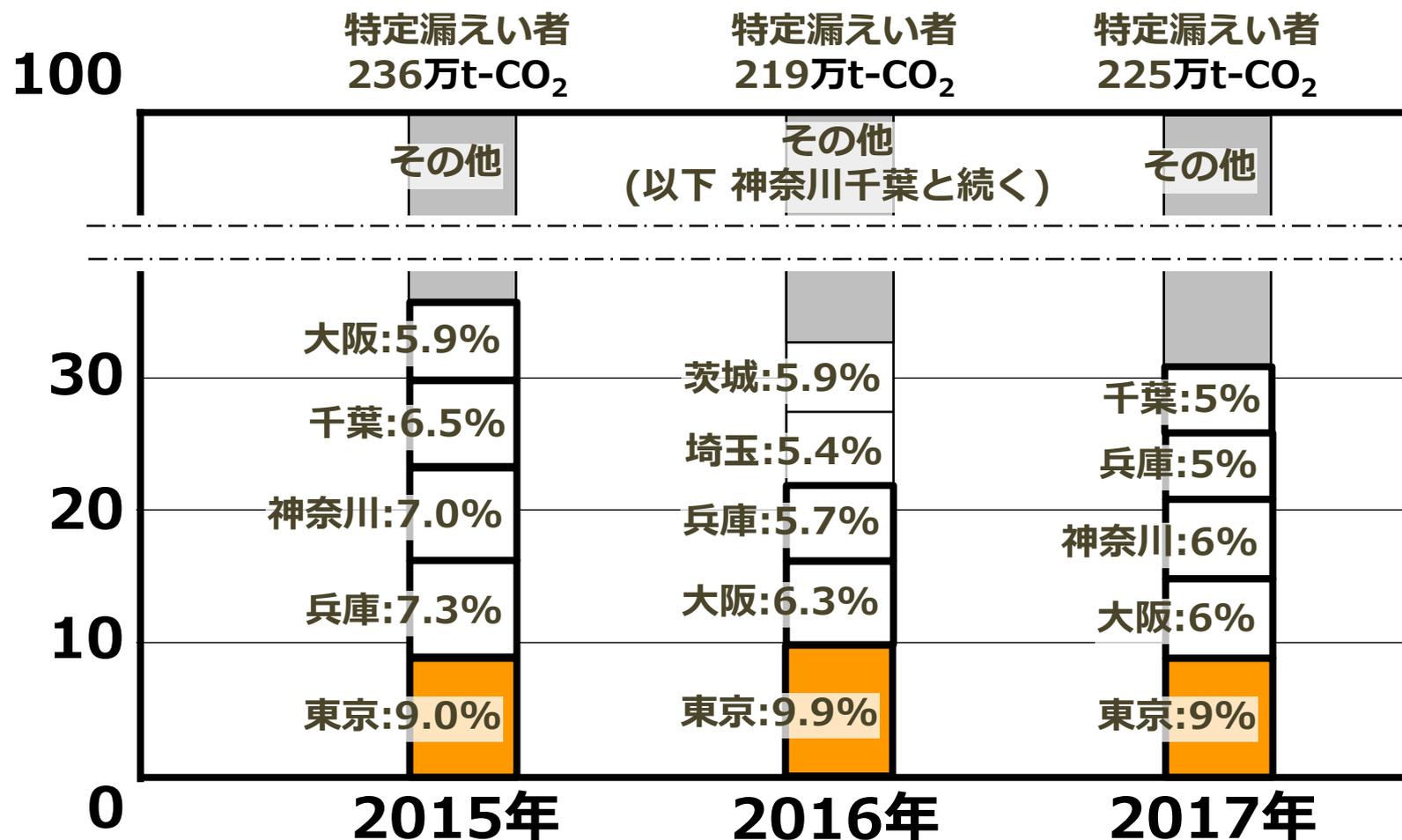


5. 算定漏えい量報告 (2019-1 追記修正青字)

～ フロン類の分類 (100分率) ～

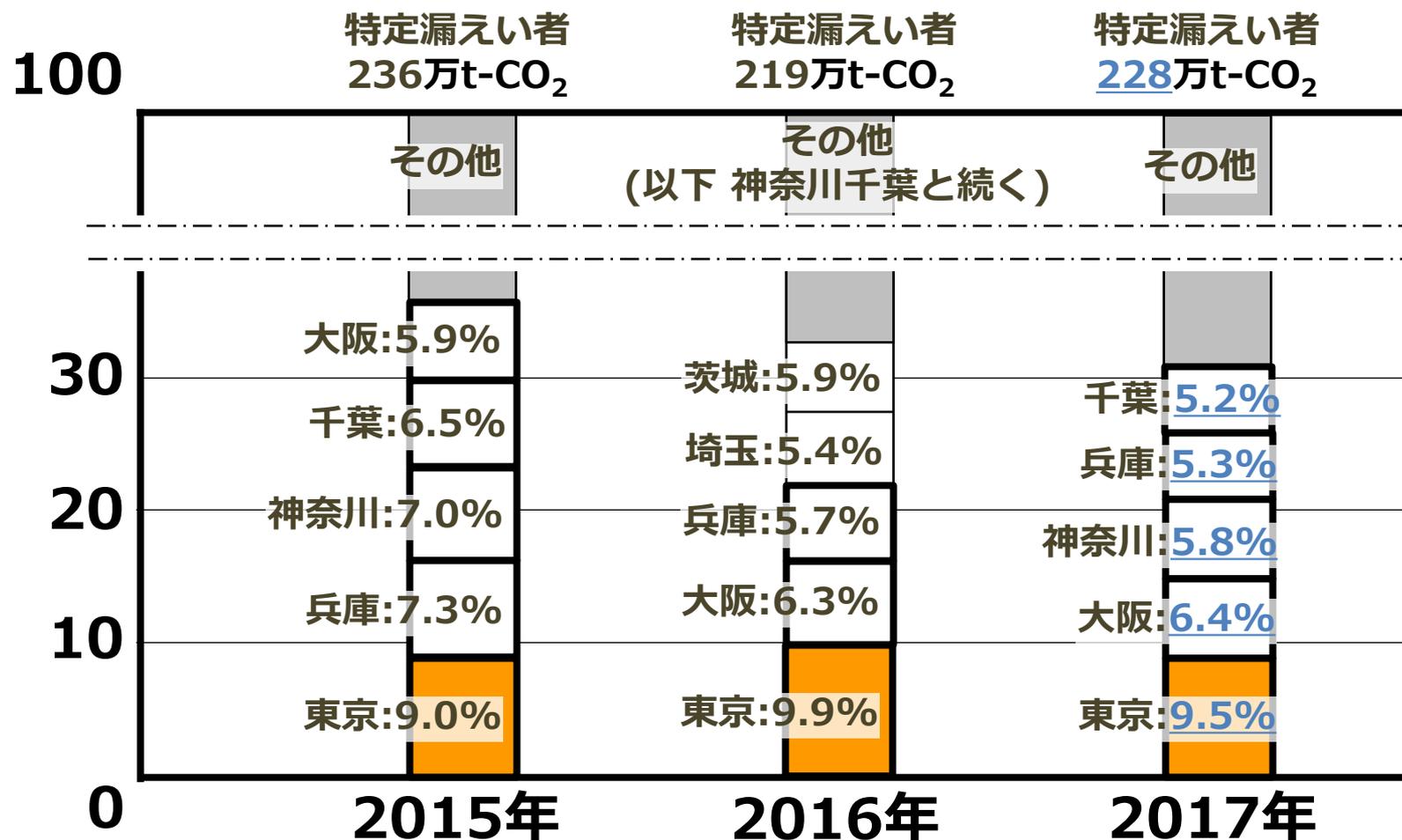


～ 事業所所在地の分類（100分率） ～



5. 算定漏えい量報告 (2019-1 追記修正青字)

～ 事業所所在地の分類 (100分率) ～



業務用冷凍空調機器の 冷媒充填・回収あるいは点検をする技術者

= 十分に知見のある者

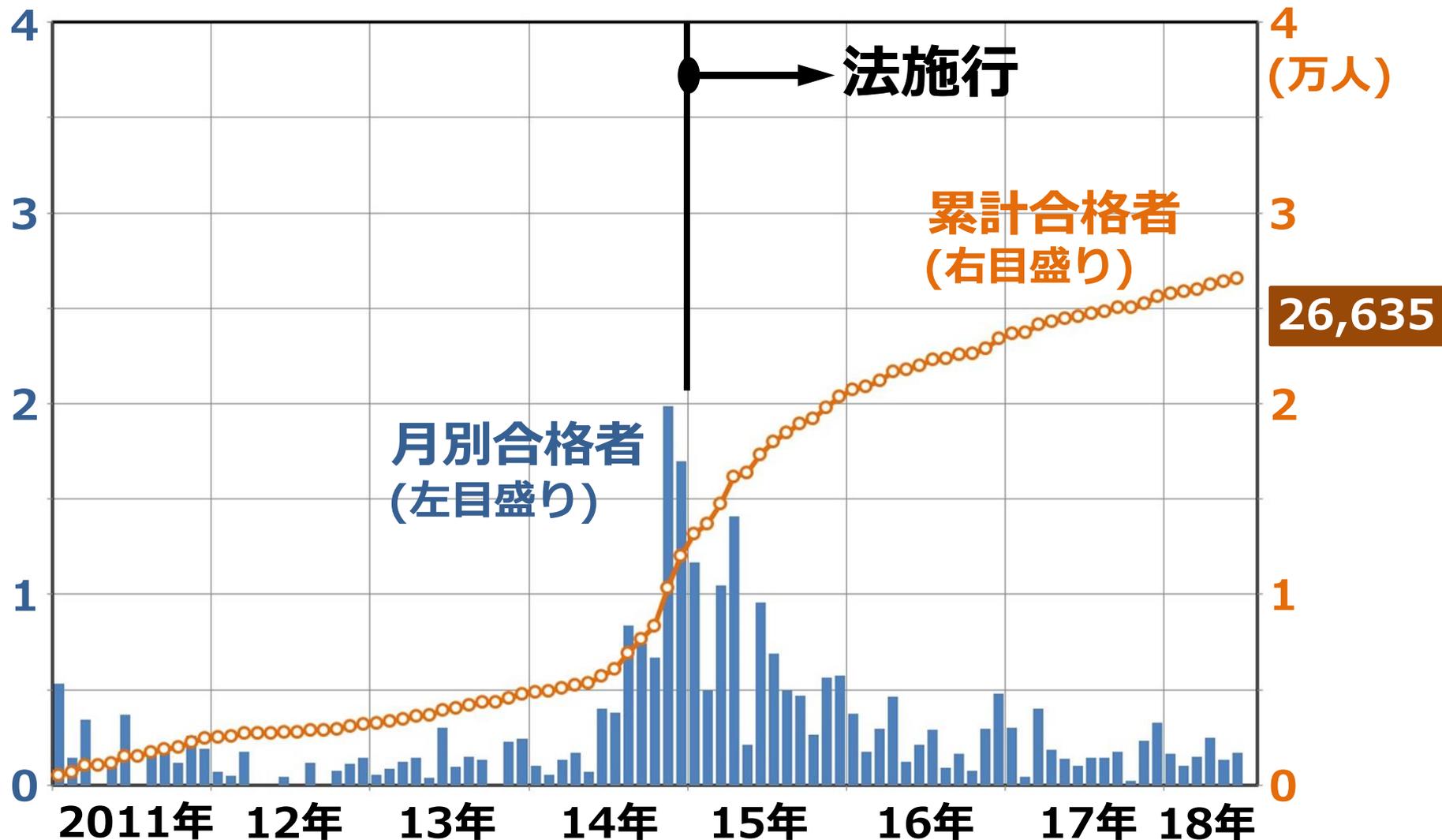
= 国が認めた「必要となる知識等の習得
を伴う講習を受講した者」

≡ 大型機器 : 第一種冷媒フロン類取扱技術者
中小型機器 : 第二種冷媒フロン類取扱技術者

6. 法制度を支える技術者数

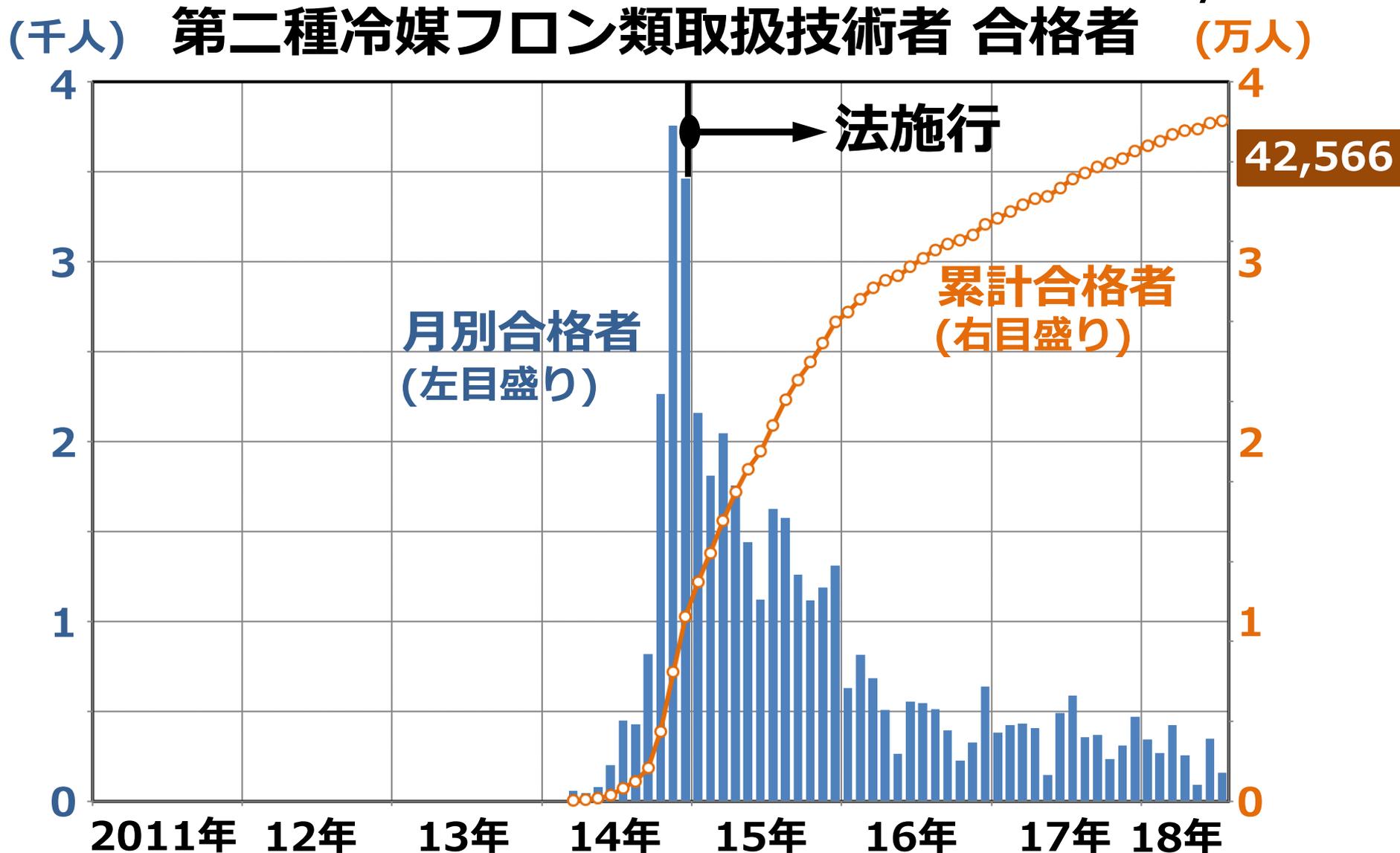
H30/10末 現在

(千人) 第一種冷媒フロン類取扱技術者 合格者



6. 法制度を支える技術者数

H30/10末 現在



冷媒フロン類取扱技術者資格の“有効期限は5年”

※ 有効期限の1年前から更新講習の受講が可能

2019年6月が有効期限（対象：4,940名）
の技術者から更新講習が始まっている。

2018年10月末現在 1,140人が受講済

注：更新講習対象者には、順次案内されるが、
連絡先が変わった場合は、早めにお知らせを

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 = (日設連)

(一財)日本冷媒・環境保全機構 = (JRECO) まで

業務用冷凍空調機器の市中稼働台数

空調機器

パッケージエアコン、チリングユニット
ターボ冷凍機など **約1,000万台**

冷凍冷蔵機器

内蔵型・別置型ショーケース、業務用
冷凍冷蔵庫、自販機など **約1,000万台**



冷媒フロン類取扱技術者
約 6.9万人

ユーザーの意識と管理の実態

	小規模事業者		中大規模事業者	
	レベル	傾向	レベル	傾向
法の周知	低	↗	高	↘
簡易点検の実施率	低	↗	高	↘
簡易点検の自社比率	低	↗	高	→
定期点検の実施率	低	↗	高	→
定期点検の自社比率	ゼロ	→	低	↗

フロン類の回収量と充填量

	合計量	冷媒種別	
廃棄時回収量	↗	CFC	→
		HCFC	↘
		HFC	↗
廃棄時回収率	→		
廃棄時回収フロン の再利用率	↗	CFC	→
		HCFC	→
		HFC	↗
充填量 (設置時以外)	↗	CFC	→
		HCFC	→
		HFC	↗

フロン類の破壊量と再生量

	合計量	冷媒種別	
破壊量	↓	CFC	↘
		HCFC	↘
		HFC	↗
再生量	↗	CFC	→
		HCFC	→
		HFC	↗

算定漏えい量報告

	合計量	冷媒種別	
特定漏えい者数	→		
特定漏えい者 漏えい量	→	CFC	→
		HCFC	↘
		HFC	↗

ご清聴 ありがとうございます

TRK

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会